

《最近の県内経済》 (2024年8月を中心として)

今月の概要

緩やかに持ち直している。



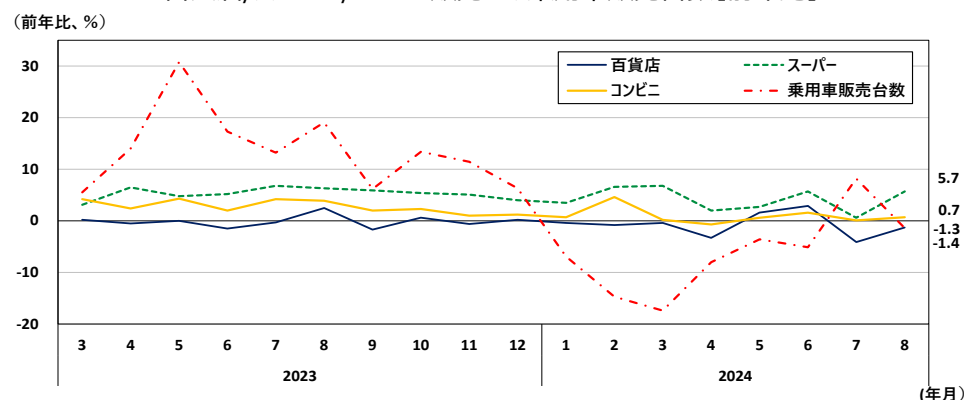
前月比

1 個人消費 ～緩やかに持ち直している



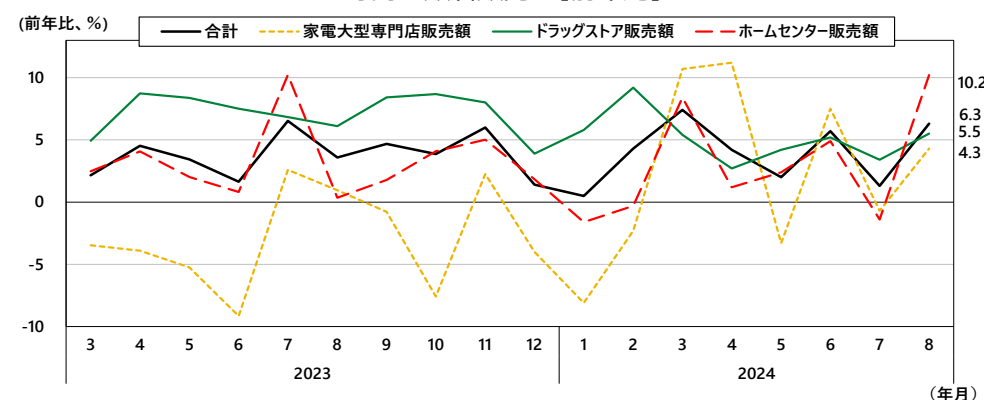
前月比

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

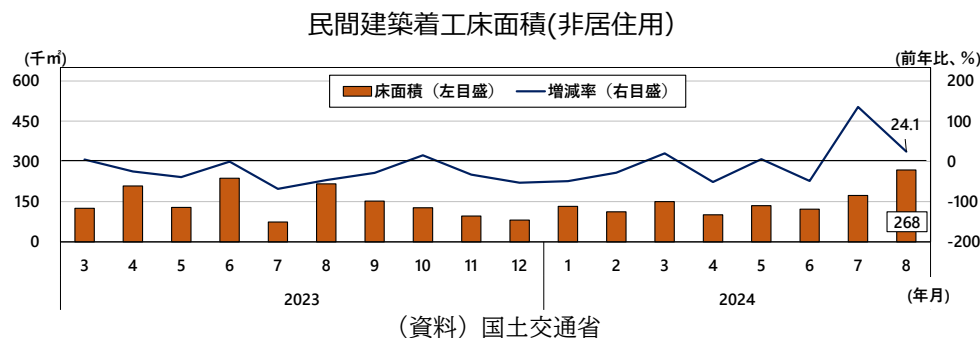
8月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は104億円で前年比1.3%減(2か月連続の減少)、スーパーは1,129億円で同5.7%増(23か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は601億円で同0.7%増(4か月連続の増加)となった。スーパー、コンビニでは防災用品の備蓄需要や米不足報道の影響を受けた。

また、乗用車販売は、前年比1.4%減と2か月ぶりの減少となった。内訳をみると、普通車が同4.5%増(2か月連続の増加)となったものの、小型車が同4.9%減(2か月ぶりの減少)、軽乗用車が同6.3%減(2か月ぶりの減少)とそれぞれ減少した。

8月の専門量販店販売額は、821億円で前年比6.3%増と24か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が179億円で同4.3%増(2か月ぶりの増加)、ドラッグストアが449億円で同5.5%増(27か月連続の増加)、ホームセンターが194億円で同10.2%増(2か月ぶりの増加)となった。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、7月〈37.6〉、8月〈37.1〉、9月〈37.4〉と推移している。

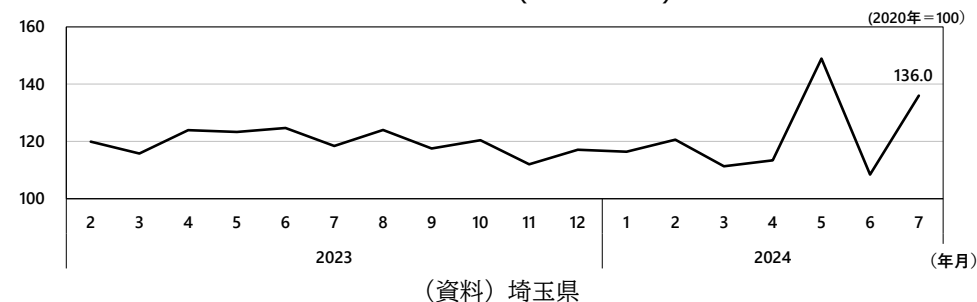
2 設備投資～持ち直しつつある ➡ 前月比



8月の民間建築着工床面積（非居住用）は、268千㎡で前年比24.1%増と2か月連続の増加となった（5か月後方移動平均では、前年比横ばい）。

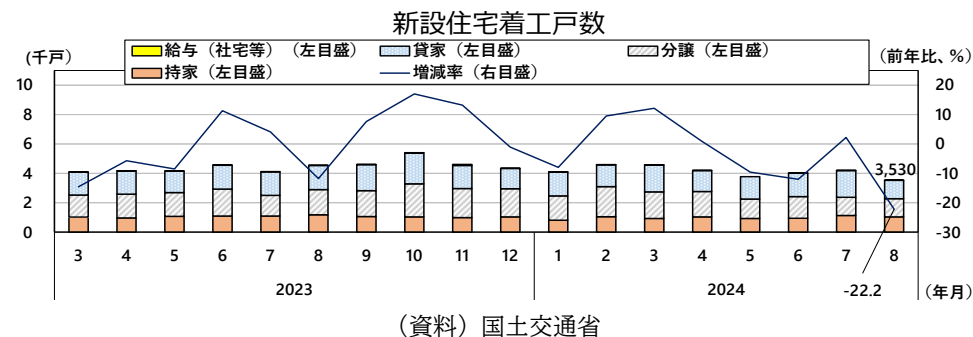
用途別にみると、事務所、倉庫、病院・診療所は減少したものの、店舗、工場及び作業場、学校の校舎はいずれも増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



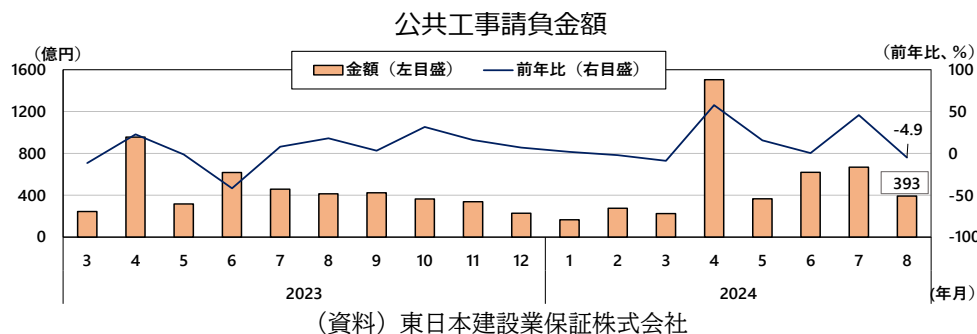
7月の資本財出荷指数（季節調整済）は136.0で、前月比25.5%増と2か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均は、前年比3.1%増加）。

3 住宅建設～一進一退 ➡ 前月比



8月の新設住宅着工戸数は、3,530戸で前年比22.2%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では8.5%減）。利用関係別にみると、持家（1,036戸）は前年比12.3%減、貸家（1,259戸）は同23.3%減、分譲マンション（310戸）は同20.3%減、分譲一戸建て（923戸）が同29.6%減となった。

4 公共工事～底堅く推移している ➡ 前月比

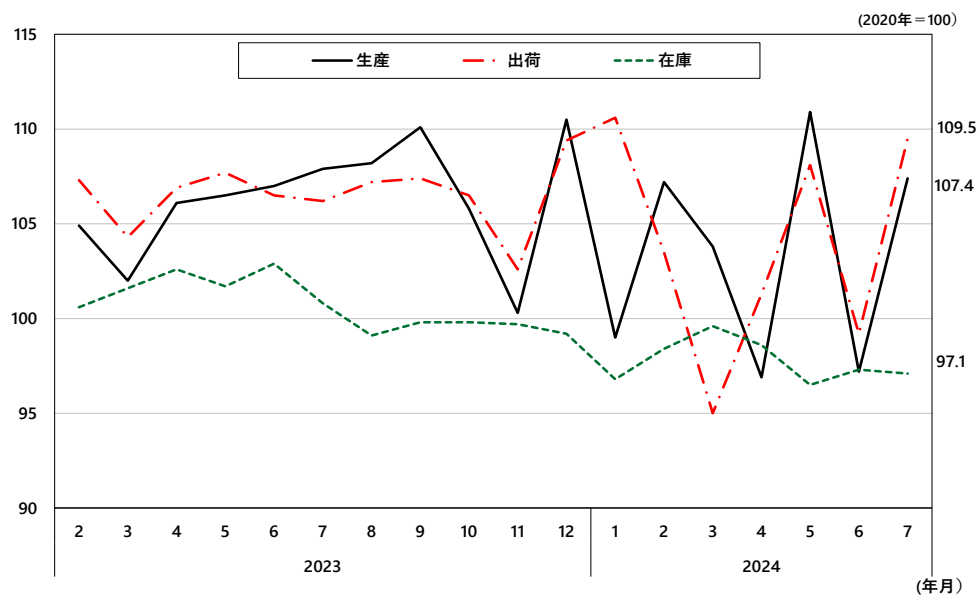


8月の公共工事請負額は393億円、前年比4.9%減となった（5か月ぶりの減少）。5か月後方移動平均では前年比28.6%増で推移。発注者別の前年比をみると、国は増加したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村は減少した。

5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



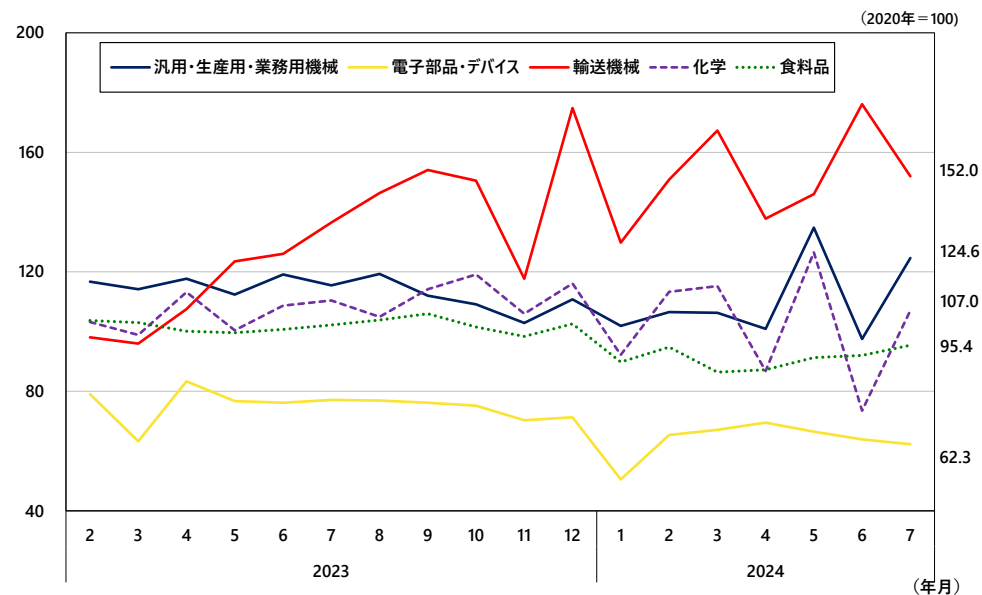
(資料) 埼玉県

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、107.4で前月比10.5%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送機械(航空機用部品、普通トラック)、窯業・土石製品(セメント、コンクリート系パネル)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが上昇した。

出荷指数(同)は、109.5で同10.4%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送機械(乗用車、航空機用部品)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが上昇した。

在庫指数(同)は、97.1で同0.2%低下した(2か月ぶりの低下)。情報通信機械(ガス警報器、金銭登録機(端末機能付))、電気機械(鉛蓄電池、HIDランプ)などが上昇したが、窯業・土石製品(セメント、遠心力鉄筋コンクリート管)、生産用機械(マシニングセンタ、食料品加工機械)などが低下した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



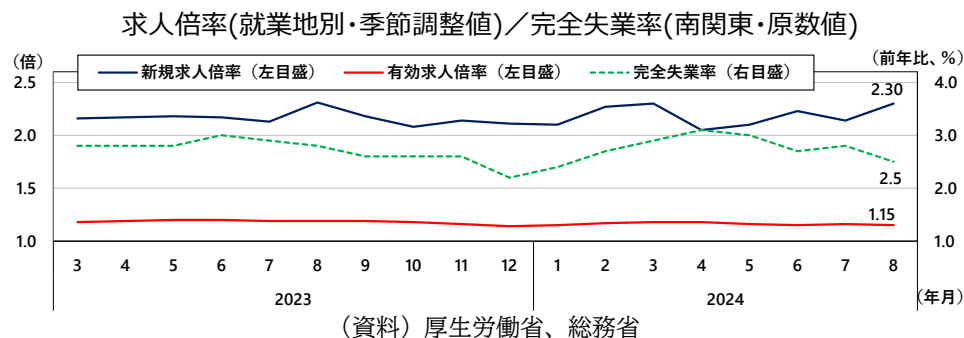
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、124.6で前月比27.8%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、62.3で同2.5%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、152.0で同13.7%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、107.0で同45.6%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 食料品(同)は、95.4で同3.7%上昇し、4か月連続の上昇となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している



前月比

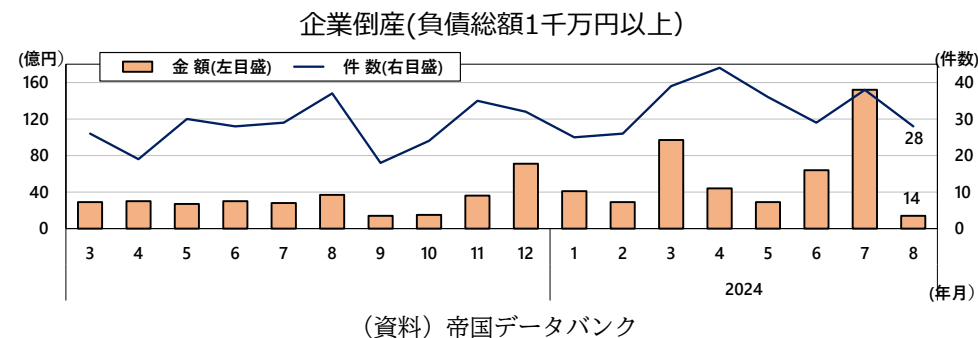


8月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.15倍で前月比0.01ポイント低下(2か月ぶりの低下)、新規求人倍率(同)は、2.30倍で同比0.16ポイント上昇(2か月ぶりの上昇)となった。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.5%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比3か月連続の低下)。

7 企業倒産 ～増加傾向にある



前月比

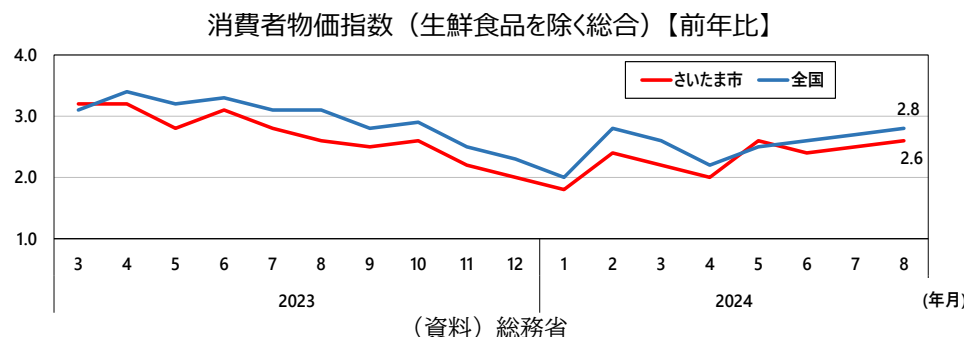


8月の企業倒産件数は28件で前年同月比9件の減少となった。また、負債総額は14億円で同23億円の減少となった(5か月移動平均では、件数は前年比6件の増加、負債総額は同29億円の増加)。
業種別にみると、サービス業が最多で8件、次いで製造業、小売業が5件、建設業が4件となっている。主因別では、販売不振が25件となっている。

8 消費者物価 ～上昇率が高止まりしている

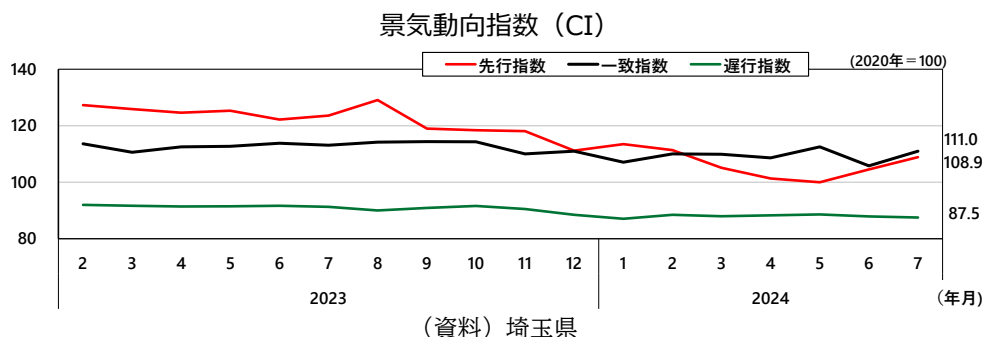


前月比



8月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.7で前年同月比2.6%上昇した(35か月連続の前年同月比上昇)。
光熱・水道(電気代)、教養娯楽(旅行費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～下方への局面変化を示している



- ・7月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、111.0で同5.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、108.9で同4.4ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、87.5で同0.4ポイント下降し、2か月連続の下降となった。